



# 大切にしたい3つの「S」

学校長 小邑 政明

前号は、リーダーに必要な「5つの力」について書きました。

今号は、生徒の皆さんが充実した学校生活を送り、夢をかなえるために、大切にしてほしい「S」から始まる3つの英単語について書きます。(始業式において生徒の皆さんに問いかけた問題の解答です。)

最初は「Study」です。勉強するという意味が一般的ですが、「研究する」とか「調べる」という意味もあります。「Study out」は、「考え出す、解決する」。「Study up on」は、「注意深く調べる」という意味です。また、「努力する」が原義です。物事をただ暗記するだけでなく、その本質を鋭く見抜く力を身につけることが重要です。さらに、教科ごとの学習に終始するのではなく、教科を超えた学習、例えば、理科の課題の解決に数学の学習内容を使ったり(東京大学の後期試験はまさにこのパターンです)、米国の中学校や高等学校で使用されている数学の教科書を読むことなどにも挑戦するとよいと思います。

次に「Sport」です。「運動」という意味が一般的ですが、「娯楽や楽しみ」という意味もあります。3月22日に文部科学省から、小学5年生と中学2年生を対象にした2012年度の全国体力テストの結果が公表されました。ピーク時の1985年と比較すると小学5年生の50メートル走で男子が0.31秒、女子が0.29秒遅くなっており、成長期の運動不足が危惧されています。中学生や高校生になる

と、勉強時間の増加等で運動する時間が減りがちです。努めて運動するよう心がけましょう。また、「Sportsmanlike」は、「正々堂々とした」、「公正な」という意味もあって人格形成にも繋がります。

3つ目は「Sweep」です。「(物の表面を)払う」が本義で、「Sweep up」は「きれいにする」という意味です。最近読んで感銘した本の一つに斎藤一人さんが書かれた『ツキを呼ぶ掃除力』があります。斎藤さんは、全国累積納税額日本一の実業家です。この本には、掃除は心が磨かれる「最高の神事」思考が整理され、直感力が高まると書かれています。仕事も人生もうまくいき、夢がかなうための具体的な行動が紹介されています。皆さんの机の中はどうか、きちんと整理されていますか。学校や家庭で掃除に一生懸命取り組んでいますか。そうでない人は是非この本を読んでください。「Sweep」を辞書でさらに調べると、「Sweep through (楽に合格する)」、「Sweep everything before one (大成功を収める)」といった句があって驚きました。

「Study」、「Sport」、「Sweep」の3つの英単語は、皆さんをさらに高める鍵となります。この3つの「S」が備わったとき、驚生はスーパー(Super)驚生になります。皆さん一人一人がスーパー驚生となって充実した学校生活を送り、それぞれの夢を実現してください。

今回は「たった一つの言葉」について書く予定です。